平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １００ ※記入不要	提案機関名	神奈川県果樹組合連合会

要望問題　カキの平棚栽培を含む低樹高化技術の確立

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

〈背景〉
栽培者の高齢化、女性化の進展により脚立作業は安全性、効率性などの面から問題がある。一方、高品質な果実を生産するために摘蕾、受粉、摘果等細かい果実管理がこれまで以上求められている。

〈内容〉
平棚栽培を含む脚立作業の必要がない低樹高栽培技術の確立を要望する。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署： 生産技術部	
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
カキの平棚栽培技術の確立

対応の内容等
カキの平棚栽培技術については、平成１５年度から上記の課題で取り組んでいるところで、立木からの樹形改造１年目の収量性、果実品質、作業時間等を調査しました。本年度も引き続き実施しており、３年程度のスパンで平棚栽培の特徴が確認できるとともに、技術の確立が図られると考えています。
なお、従来からカキの低樹高化は現地への普及が図られてきたところですが、さらに、脚立を使う必要がなく、平棚の設置もしないタイプの仕立て法については、その可能性も含めて検討してまいります。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	